

# 委員会行政視察報告

このたび各委員会がそれぞれ管外行政視察を実施しましたので、その概要を報告します。

## ◎企画総務常任委員会

とき10月26日～27日

・神奈川県大和市

「地域乗合交通創出支援事業について」

公共交通不便地域の解消を掲げる大和市では、コミュニティバス運行事業から外れている地域の交通便利向上のため、住民と協働で事業を実施。

市の支援は車両提供のみで、時刻表の看板や広報誌の作成等は住民組織が行っている。

道路運送法に抵触しないよう無償運送とし、利用者からの「車内カンパ」で運営費を確保している。

ただ、地域ボランティアである運転手や添乗員の人材確保や運行資金の安定化などの課題の説明があった。



乗合事業で運行している車両

・神奈川県南足柄市

「いきいき夢議会について」

平成16年から中学生を対象に、住んで感じることや日頃の疑問など地域の問題について議論し、自分のまちに対する提言をすることにより、市民の一員として自覚を持ち、かつ政治への関心を持ってもらうために開催。

毎年1回、市内4中学校で順番に開催し、調査・準備などはすべて生徒が行っている。

市は、これらの提言を施策としても活用するなど、児童生徒の視点を政策に結びつけている。

## ◎産業常任委員会

とき10月20日～21日

・岡山県津山市

「中心市街地の活性化について」

市が28億を拠出し、破たんした商業棟の床を取得。第三セクター津山街づくり株式会社为天満屋を核テナントに公共施設も入居するなど、経営再建した。

また、街づくり株式会社を中心に民間活力の導入、商店街への回遊策など各種事業を積極的に展開し、市街地活性化によるにぎわい創出に努めている。

・岡山県真庭市

「六次産業化の取り組みについて」

真庭市内で生産される農作物、畜産物を「蒜山ブランド」として展開。

また、ワイナリーでは山ぶどうの栽培から販売までの「六次産業化」を実践しており、事業が軌道に乗るまでの経緯、苦労などの説明を受けた。

また、同市では道の駅を地場産農産物などの販売所としても積極的に活用するなど、今後の本市の観光戦略を考えるにあたり大変参考となる取り組みであった。



平日でも賑わう道の駅の直売所

## ◎民生文教常任委員会

とき10月26日～27日

・JA長野厚生連

佐久総合病院

「保健・医療・福祉を連携した地域医療等の取り組みについて」

医療と文化活動を通じ、住民の命と環境を守るために地域づくりへも積極介入する病院づくり。「地域医療」の取り組みを視察。

院内に設置した演劇部が地域に向いてイベントを開催。寸劇などを通じ住民にわかりやす

く医療知識を浸透させるとともに、地域住民との距離を縮め、患者が行きやすい病院づくりに努めている。これらの結果、脳卒中の死亡率を大幅に減少させるなどの具体的な効果を上げている。

・長野県佐久市

「健康づくり推進プロジェクトについて」

「世界最高健康都市の構築」を掲げる佐久市の取り組みを視察。

同市では、死ぬまで元気（びんびん）で、ころっと死ぬことを理想として、元気な高齢者をふやそうという取り組み「びんころ」をキーワードに食生活改善や体操教室を、30年以上前から行政から独立した団体である保健指導員が継続的に活動。

保健指導員は、約40世帯に1名の割合で設置しており、累計で全市民の4分の1が経験するなど、保健衛生の普及、浸透に寄与し、市全体の健診受診率アップの中心的役割を果たしている。



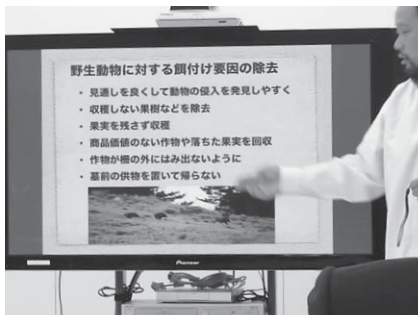
健康食でありながら季節感も味わえる「びんころ四季の膳」

## ◎有畜鳥獣対策特別委員会

とき11月8日～9日

・近畿中国四国農業研究センター大田研究拠点

「エサ場として魅力のない集落づくりについて」



野生獣の習性や生態をもとに研究成果を説明いただいた

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構内に設置されている鳥獣害研究チームを視察。

チームでは、実際に10年間イノシシなどを飼育し、習性や生態などを熟知した江口博士から研究成果を説明いただいた。

同氏からは、一般的なイノシシ対策は正しく情報が伝わっていないこと、人間の誤った行動が集落にエサ場を作り、農作物被害を助長していることなど、鳥獣害対策において重要なポイントの説明があった。

特に、秋以降に草刈りをするなどで冬枯れない青々とした雑草がシカなどのエサ場となり、集落へ誘因するだけでなく、個体数の激増を助長していることや効果的な電気柵の設置方法などを野生獣の生態に基づきわかりやすく説明いただいた。



### ～議会改革だより～

## 意見交換会ならびに議会報告会を開催しました!!

全国各地の先進的な取り組みを見ると、議会が積極的に住民の中に出向き、報告し、意見を伺い、市政に反映させる—住民の目線に立った議会運営を実施している地方議会がふえてきています。

本市議会においても昨年11月にテーマ別に4回の意見交換会を開催し、また、本年1月には2回の議会報告会を開催しました。

今回は、意見交換の際にいただいたアンケートの結果を掲載します。

・こんな意見もいただきました！

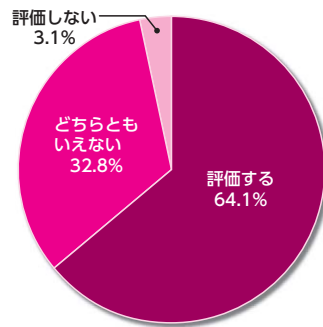
- ・テーマが難しかったが、各議員が頑張って勉強している姿はよくわかった。
- ・党派を超えた意見交換会は大変良かった。一般にも公開してはどうか。
- ・議会活動、思い等を理解でき非常に良かった。
- ・今後対市民で意見交換する機会を作っていたいただきたい。

・市議会の方々の意見交換をもっと広く取り入れていただきたい。

・両会合とも初めての取り組みという点で、いたらぬ点が多々あったかと思いますが、皆様からいただいた貴重なご意見を今後の市政ならびに議会運営に生かしてまいりたいと思っています。

◎おもな意見

- ・もっと議員の意見が聞けたら良かった。
- ・もっと焦点を絞って話をした方が良かったのでは。
- ・グループに分け、少数の方が活発な意見が出るのでは。
- ・項目ごとに意見交換した方が良かった。
- ・論点が絞り切れていない。

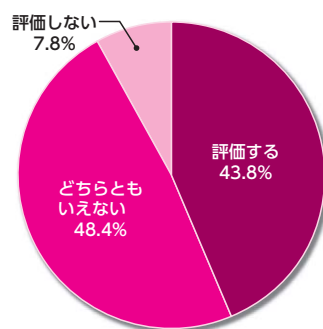


意見交換会アンケート結果  
69名参加、64通回答  
(回答率92.8%)

問1. 本日の意見交換会はどうでしたか？

◎おもな意見

- ・繰り返し開催を望む。テーマを広げ、女性なども含めたトーク会を。
- ・回を重ねていくと進行方法もわかってくるので、よりよい発言が生まれてくると思う。
- ・もう少しフレキシブルな場に。
- ・進行の仕方でもっとクオリティの高い意見交換会になるのでは。

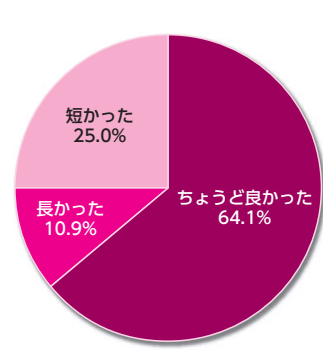


問2. 内容はどうでしたか？

- ・議会内部もオープンにして市民に開かれたものにすべき。今日のように自由な意見が飛び交うように望む。

◎おもな意見

- ・いろいろな団体を集められたにしては時間が足りなかった。各団体と同じように時間を取られたとしても十分な意見交換ができたのでは。



問3. 時間はどうでしたか？

- ・今回の意見交換会を形だけでなく、有意義に活用していただきたい。
- ・議員の皆さんの熱意が伝わってこなかった。
- ・もっと焦点を絞ってはどうか。

開かれた議会をめざしてはじめて開催!!

小浜市議会  
**議会報告会**  
～市民と語る会～

1月23日(日)

①午後1時30分～  
小浜市勤くぬぎの家 3階大ホール

②午後7時～  
サン・サンホーム小浜 多目的ホール

議会活動報告・定例会報告  
意見交換など

開催にご協力いただきありがとうございました

### 編集後記

今号がこのメンバーで発行する最後の議会だよりとなりました。2年間の短い間でしたが、議会だよりの編集、発行はもちろん、議会改革にも大きく関与することができました。

「開かれた議会」の取り組みにおいて、議会の情報を正確に、わかりやすく、そして正確に皆様へ伝える—まさに議会広報の取り組みが、これからの議会運営の中心的役割になってまいりました。前号でお伝えした議会広報に関する答申やインターネットでの議会録画配信の取り組みなど、開かれた議会に向かつて着実に前進してまいりますので、今後よろしくお祈りします。

#### 〈広報委員会〉

- 委員長 井上 万治郎
- 副委員長 宮崎 治宇蔵
- 委員 松崎 圭一郎
- 藤田 善平
- 下中 雅之
- 池尾 正彦

#### ◆ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

皆様の市議会に対するご意見・ご質問・ご要望等を議会事務局宛てのメールでお受けすることができます。メールアドレスは下記のとおりです。  
gikai-jimu@ht.city.obama.fukui.jp

#### ◆ホームページで会議録を掲載。

小浜市のホームページで、平成13年9月定例会からの会議録をご覧になれます。URLは、<http://www.city.obama.fukui.jp>メニューの「議事録・会議録」ボタンから。

